

名東区の皆さまへ

ひび美咲のお約束

2019年夏号
ひび美咲便り

子育て支援の推進

- 子ども医療費「18歳まで無償化」の実現
- 児童虐待の予防と早期発見のため、地域諸団体との連携強化
- 子どもの放課後の安全な居場所づくり
(トワイライトルーム・スクールや学童保育の環境整備)



安心できる健康・社会福祉の実現

- 敬老パスは65歳からの交付を堅持
- 敬老パスの名鉄、近鉄、JRなどの私鉄など利用拡大の実施
- 災害時に避難所となる小中学校の体育館へ空調設備の整備
- 骨髄バンクの普及啓発と、患者や家族を支える環境の整備



教育を政治の力で支えます

- 安心・安全でおいしい給食を提供できる環境づくり
- 給付型奨学金の拡充



地域の皆さまのお困りごとに、国・県・市で連携し、ワンストップサービスでお応えします。

国 衆議院議員
古川元久

県 愛知県議会議員
富田昭雄

市 名古屋市議員
ひび美咲



名古屋市議員

ひび美咲

都市消防委員会 副委員長
公社対策特別委員会 委員

統一地方選挙では、皆さまより温かいご支援をいただき、無事に2期目のスタートをきることができました。ご期待に添える様、皆さまからお預かりした4年間の任期を、しっかりと前を向き精進して参ります。

大切な人を育て介護することや、一生懸命働くこと、障がいや病気と共に生きること、そういった皆さまの声でこれからの名古屋を創っていきたい。自分たちの意見や想いが、確実に届いていると実感できる名古屋にしていきたい。そのためにも、地域の声を直接私に届けていただけるよう、より政治を身近に感じてもらえるよう、これからも皆さまと共に歩んで参ります。

名古屋市議員 **ひび美咲**

プロフィール 昭和60年生まれの34歳。保育園に通う3歳の息子の育児と仕事に、日々奮闘中。モットーは「困難に直面した時や、辛い時こそ笑顔」。

市政トピックス！

今年度の所属委員会が決定しました。ひび美咲が所属する常任委員会、特別委員会についてご紹介します。

●都市消防委員会

3つの局(防災危機管理局、住宅都市局、消防局)の管轄にあたる事項を扱います。

●公社対策特別委員会

地方自治法第221条 第3項に規定する法人のうち、特に公益性の強いものについて、その運営状況と事業効果を調査します。

★常任委員会とは

本会議の予備審査的な機関です。少人数の議員で構成され、それぞれの担当部門の議案や請願などの審査・調査等を行います。

名古屋市会には6つの常任委員会が設置され、議員はそれぞれ毎年度1つの常任委員会に所属します。

★特別委員会とは

市会が特に必要と認めた事件を審査・調査するために設置される臨時的な機関です。

ひび美咲事務所 平日 午前10時～午後5時まで

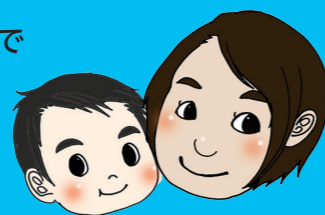
〒465-0025 名古屋市名東区上社1-402 柴昭ビル1E

TEL: 052-777-3193 FAX: 052-777-7330

Email hibikenoffice@hibiken.com

<https://www.facebook.com/hibi.misaki/>

<https://www.instagram.com/misaki.hibi/>



国民民主
KOKUMIN MINSHU PRESS

国民民主党 国民民主プレス 編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町 1-11-1

電話: 03-3595-9988 (代表)



議会だより -2月定例議会-

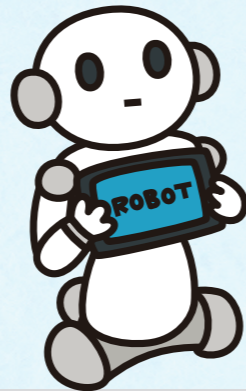
今年2月の本会議での個人質問と市の答弁です。
ひび美咲の市政活動報告をいたします。



分身ロボットを活用した授業の導入について

ひび美咲 名古屋市病院内学級において、分身ロボットを活用した授業の導入を検討できないか。

教育長 病院内学級の児童が分身ロボットを活用すれば、在籍していた学校の授業にリアルタイムで参加したり交流することができる。集団で学習する楽しさや仲間意識を味わうことで学習や治療にもプラスの効果が期待される。導入にあたっては、病院のインターネット環境や学習における効果的な活用のあり方を調査、研究をする必要があるが、具体的に検討を進めたい。



病院内学級とは・・・

長期間入院している児童・生徒が治療を受けながら通えるように、病院内に設けられた学級のこと。

骨髄ドナー登録説明員の養成支援について

ひび美咲 骨髄ドナー登録説明員の養成支援のため、同説明員の卵である ボランティアスタッフの確保につながる取り組みを行えないか。

健康福祉局長 骨髄ドナー登録説明員は、「あいち骨髄バンクを支援する会」が、ボランティアスタッフの中から適任者を選任し養成研修会を実施し、日本骨髄バンクから委嘱されている。今後、上記団体との連携強化に努めていく。また、その役割や活動内容を一般の方に理解していただけるよう、市公式ウェブサイトや広報なごやを活用して積極的に普及啓発を行い同説明員の養成につなげていく。



ひび美咲 骨髄ドナー登録会がより一層開催されるよう、定期的に献血会を開催している団体に「骨髄ドナー登録説明員」になってもらえる働きかけを行えないか。

健康福祉局長 献血会を定期的に開催している団体に対し、「あいち骨髄バンクを支援する会」と連携して働きかけていく。

認知症ケアについて

ひび美咲 認知症の根本的な解決のために、名古屋市立大学において重点的に研究を推進すべきと考えるがいかがか。

総務局長 名古屋市立大学に新たに認知症等に関する研究拠点が整備予定で、本市はそのための改修費の補助を予定している。具体的には、ゲノム解析などの先進的な研究手法により、早期発見のためのマーカー開発や新たな予防法・治療法の開発などを目指すものであり、認知症を専門とする新たな研究者の採用手続きも進めている。市立大学には、本市の施策と連携しながら、認知症の発症メカニズムの解明や治療法の確立に向けて研究を推進していただきたい。

ひび美咲 より多くの方に認知症検診を受けていただくため、工夫する点はあるか。また、認知症疾患医療センターが3か所指定されているが、今後、認知症の専門相談機能を強化するつもりはあるか。

健康福祉局長 認知症は早期診断、治療により進行を遅らせることができるため、新たに認知症検診の実施(1年度に1回、65歳以上の方が無料で受けられる)を予定している。がん検診や後期高齢者医療健康診査など他の検診制度等と連携を図り、多くの方に検診を受けていただけるよう工夫していく。検診で「認知症の疑いあり」と判定された方を、円滑に専門医療機関につなげる仕組みについても検討している。



認知症の専門医療は、認知症疾患医療センターに限らず他の医療機関でも実施しているが、同センターは、それ以外にも認知症の専門相談や、地域における保健医療・介護関係者への研修及び情報発信等を通じた地域連携の役割も担っており、その重要性はますます高まっている。今回、同センターにおける相談員の配置を強化する予定であり、引き続き、専門相談の体制を充実していく。

ひび美咲応援団を募集しています！

ひび美咲に力を貸してくださるボランティアさんを募集中です。ご登録をいただいた方には、各種イベントのご案内や活動レポートをお送りさせていただきます。



ひび美咲事務所 (Tel.777-3193もしくはhibikenoffice@hibiken.com) までお名前とご住所をお知らせください。後援会についてもお問い合わせください。